

質問順位6 川崎 葉子 (一問一答式)

1 こども未来行政

(1) 保育施設の散歩時の安全対策について

- ア お散歩ルートの調査・安全対策はどのように行うのか
- イ 道路への飛び出し防止など公園の安全管理は十分か

2 教育行政

(1) 通学路の安全対策について

- ア 交差点など人がたまり事故が発生しやすい場所へのガードレールやポール
の設置状況は
- イ 信号機の設置要望、グリーンベルト等のカラー舗装要望に対して実施状況
は

(2) 教育相談体制の充実

- ア スクールカウンセラーへの相談体制
- イ SNSを活用した相談窓口

3 健康福祉行政

(1) 介護ボランティアポイント制度について

(2) 緊急時通報システムについて

- ア 現状と課題は
- イ 今後の取組について

4 市民生活行政

(1) デマンド交通本格運行について

- ア ひなちゃんタクシー本格運行に向けて
 - (ア) 陣痛時の利用について
 - (イ) 乗り合いのルールについて
- イ 乗り合いタクシーの検討は

(2) 自主防災組織育成と継続について

- ア 自主防災組織の組織率と活動状況は
- イ 組織率アップの具体策
 - (ア) 積極的な防災出前講座
 - (イ) 防災隣組
 - (ウ) 黄色いハンカチ作戦
- ウ 自主防災組織活動補助金について

質問順位 7 加藤 久子 (一問一答式)

1 環境経済行政

- (1) 新ごみ処理施設建設支援について
ア 鴻巣行田北本環境資源組合について
(ア) 今までの計画存続は可能なのか
- (2) アピタ吹上閉店、その後の動きは

2 市民生活行政

- (1) コミュニティバス（フラワー号）について
- (2) デマンド交通（ひなちゃんタクシー）について
ア 利用条件について
(ア) 子どもが同乗できることについて
(イ) 料金の支払いがカードでできることについて

3 都市建設行政

- (1) 道路工事は一気にすべきではないか

4 教育行政

- (1) 吹上・大芦小学校の通学区の見直しについて
- (2) 吹上堤外グラウンドの整備について

質問順位 8 中野 昭 (一問一答式)

1 こども未来行政

- (1) 幼児教育の無償化について
ア 市内の認可外保育施設の現状について
イ 認可外保育施設の指導について
ウ 安全基準を定める条例制定について
- (2) 長期休業期間限定児童クラブの集約について
ア 集約化した理由について
イ プール利用について
ウ 休業前後の給食のない日の対応について

2 都市建設行政

- (1) 筑波通線及び富士見通線歩道部分の舗装打換えについて
- (2) 吹上団地内ごみ集積場排水管の点検について

質問順位 9 金澤 孝太郎 (一問一答式)

1 財務行政

- (1) 本市の最適な公共施設のあり方を実現する「公共施設等総合管理計画」の取組について
 - ア 平成29年3月策定の「鴻巣市公共施設等総合管理計画」の内容等について
 - (ア) 県内類似規模自治体との公共施設・インフラ施設の更新費用額等の比較について
 - (イ) 今後の中・長期的なアセット・マネジメントと個別施設の時系列的管理計画の取組について
 - (ウ) 個別施設計画の実施、継続保全・更新検討・利用検討・用途廃止の評価に基づく推進状況は
 - イ 本市の財政運営の将来見通しと管理計画への影響等について
 - ウ PPP (PFI等) の民間資金やノウハウ等の民間活力を導入する考えは

2 環境経済行政

- (1) 「鴻巣市観光戦略計画」による、シティプロモーションの取組について
 - ア 第1次鴻巣市観光戦略計画 (H26年度～H30年度) の実施結果と課題・問題点等について
 - イ 「鴻巣といえば〇〇」と連想される、鴻巣市ブランド等をどのように育てていく計画か
 - ウ 市民の皆さんが本市のシティプロモーションに参加しやすい取組について

質問順位 10 織田 京子 (一問一答式)

1 教育行政

- (1) 家庭教育支援条例を制定することで、何ができるか。子どもが次代の社会を担い、その健やかな成長が市の発展の基礎をなすことに鑑み、家庭教育の支援に関し、基本理念、市等の責務、その他の必要な事項を定めることの必要性について
 - ア 保護者の家庭教育の自主性を促すことをどう考えるか
 - イ それについて市ができることはどのようなことか
 - ウ 学校と地域住民の役割は、学校行事や地域の行事を通して子どもの自立を育成することだが、それにはどのような方法があるのか
- (2) 子どもの家庭でのインターネット利用について
 - ア 市内の小中学校の児童・生徒の携帯電話、スマートフォンの所持数は
 - イ それらの利用にあたって家庭でのルールを作ることは必要だが、ルール作

りの啓蒙は

ウ 子どもをインターネットの危険から守るためにすべきことは何か

エ 以上のことをまとめると、立派な条例ができ上がるが、制定の予定は

2 こども未来行政

(1) 15歳までの子ども医療費の無償、3人お子さんがいる家庭では18歳までの医療費が無償の制度について

ア 市や県をまたいで、一旦医療費を支払い、市に申請の後、口座に振り込まれるが、書類を書くだけで、他県他市の医療機関が本市に請求するという方法はとれないか

イ ほかに方法があるか